



未来へ羽ばたく 国際交流の輪

令和8年度海外交流事業

7月2日(木)から4日(土)までの間、オーストラリアのメルボルンにあるドロマーナ小学校から小学生10人と引率の先生2人の合計12人が、本市へ来訪しました。今回の来訪は、令和6(2024)年以来3回目となります。

本事業は、オーストラリアの小学生を受け入れ、交流活動の中で積極的に英語を用いたコミュニケーションができるようにするため、市内小中学生に、広く国際交流の機会を創出することを目的としています。

市内の全小学校での交流や、ホームビジットを通して、お互いの文化や生活への理解を深め、国境を越えた友情を育みました。

交流スケジュール

7月2日(木)

麻生小学校、麻生東小学校と交流

7月3日(金)

北浦小学校、玉造小学校と交流

どうぶつとみんなのいえを見学

7月4日(土)

ホームビジット、フェアウェルパーティー

※7月2日～4日：レイクエコーに宿泊

INTERVIEW

インタビュー



ドロマーナ小学校
ニック教頭先生

日本の学校生活を体験する貴重な機会を作っていただき深く感謝します。温かいおもてなしと優しさに触れ、子どもたちはすぐに笑顔になり、多くの思い出ができました。特にホストファミリーの皆さんが、家族のように日本の暮らしや文化を教えてくれたことに感動しました。この友情と絆を大切に、これからも日本とのつながりを育んでいきます。



ドロマーナ小学校
エメリアさん

学校での交流が一番印象深かったです。最初は緊張していましたが、皆さんが笑顔で温かく迎えてくれました。そして優しく話しかけてくれたり、遊んでくれたりと、とても楽しかったです。言葉が少ししか通じなくても、皆さんの優しさに触れられた時間は、一生忘れられない大切な思い出になりました。



最初は緊張したけれど、
相手が笑顔になったとき
思いが通じた喜び



きっかけは、
勇気を出して
話しかけた一言



手を振って
また会おうと
笑顔で約束を

